

## 令和2・3年度 熊本県教育委員会指定 防災教育研究推進校

本校は、熊本県教育委員会から令和2・3年度に「防災教育研究推進校」の指定を受けました。研究主題を「主体的に判断し、協働的に行動する児童の育成～地域とともにある防災教育の実践を通して～」と設定し、取り組みを始めました。その一環として、9月5日(土)に「緊急時保護者による引き渡し訓練」を行い、11月7日(土)の土曜授業で「CSの日 防災教室」を行う予定です。

訓練を行うことによって課題が見え、より安心安全な生活ができるように改善していきます。

また、9月5日(土)には、益城町教育委員会の防災教育推進員の柴田先生をお招きし、5年生と6年生に防災教育の講話を行っていただきました。6年生には文化財のことと災害のこと、自助のことを中心に、5年生には防災クイズを通して自助について考えることを中心に講話をしていただきました。



## 学校運営協議会の取り組み ～学校環境整備・輝塾・CS委員講話～

コロナ禍にあっても、宮原小学校運営協議会の活動は活発に行われています。

6月には正門横の花壇に花苗を植えました。子どもたちが毎日登下校で目にするところに美しい花があると、心が落ち着きます。

9月から輝塾(放課後学習会)が始まりました。例年は八火図書館で行っていましたが、今年度は学校の図書室で行われており、6年生全員が参加しています。

10月にCS委員の村山さんが「祭りにかける思い」と題して、5・6年生に「三神宮」の祭りについて講話をしてくださいました。



## いろんな人に支えていただいています！

ボランティア「おはなし さくらんぼ」による読み聞かせが9月から再開しました。氷川中学校から1年生に防災頭巾がプレゼントされました。また、宮原地区の若手農家の有志の皆さんから、1年生と新しく来た職員に、イグサ座布団がプレゼントされました。さらに、地域の皆さんから手作りマスクをたくさんいただきました。

いろんな人から宮原小は支えていただいています。ありがとうございます。



## 輝け!宮っ子

「豊かな心を持ち、自ら考え行動し、より  
良く生きようとする宮っ子の育成」

### <宮原小のめざす児童像>

- |                   |                    |
|-------------------|--------------------|
| (健)いきいきとし夢を持つ子    | ・健康で健やかなのびのびと明るい心身 |
| (根)粘り強くがんばる子      | ・根気強く粘り強い学習や仕事     |
| (信)互いに信頼し思いやりのある子 | ・互いに約束を守り信頼し合える生活  |



## 児童一人ひとりが大切にされる宮原小をめざして

本校では、自分の大切さとともに他の人の大切さも認めることができる児童、人とつながる力を持った児童を育てる取り組みを進めています。

新学期に運営委員会の児童が、「たのしい宮っ子」宣言を行い、「たくましく、のびのび、しんじあう、いつもえがおの宮っ子」、お互いを思いやるやさしい宮っ子を目指そうと呼びかけています。



## あいさつ運動一斉行動の日 ～毎月15日(あいさつ運動・ノーテレビノーゲームデー)～

氷川町ではコミュニティ・スクール(CS)の取り組みの一環として、子どもたちが安心して暮らせる町づくりを目的として、学校・家庭・地域・行政が一体となり毎月15日の朝に「あいさつ運動一斉行動の日」を実践しています。

また、PTAや児童会もこの運動と連携した、「ノーテレビ・ノーゲームデー」や「あいさつ運動」に取り組んでいます。



## <全学年> 戦争の悲惨さや平和の大切さと尊さを学ぶ平和学習

戦争の悲惨さや、平和の大切さと尊さを学び合い、平和な社会を築いていこうとする態度を育てるために毎年開催しています。

今年は、低学年は「おかあちゃんごめんね」、中・高学年は「夏服の少女たち」を題材に学び、平和の意義について深く考えました。

